

五省
一至誠に情るなりしか
一言行に恥ぢるなりしか
一氣力に欽るなりしか
一努力に感みながりしか
一不精に眞ろながりしか

五省会ニュース

発行所
医療法人財団五省会西能病院
〒930 富山市五福1130
TEL (0764) 41-2481(代)
発行人 西能 正一郎

乾いた道に下駄の歯音

豪雪の中にしのぶ九州の初詣で

兼久文治

初春隨想

「午前は粉雪、紛々霏々、午後は綿雪、片々飄々、終日間断なく降り暮らす……」徳富蘆花の「自然と人生」の一節だが、小学生のころ暗誦させられた文章は忘ぬるものとみえる。私はその年の大晦日、一m先も見えぬくらいに乱れ飛ぶ雪の中を歩きながらこの一節を何度も口ずさんだものだ。

「風大いに到れば、積みけたその年は万葉集にいう「新しき年の初めの初春の今日降る雪のいや度も口ずさんだものだ。

明けたその年は万葉集に大伴家持の歌通りの正月だった。ところが日が経つにつれ、だんだんそ

新しい年の「いのち」

西能正一郎

あけましておめでとうございます。皆様お揃いの年で一九八七年の初春をお迎え遊ばされましたこと、心よりおろこび申し上げます。今年は、富山市星井町で西能整形外科と称して医院を開業しましてから二十五年目になります。四半世紀もの長い間、皆様の変わらぬご支援

幸いにも私は未だ失意の経験はありませんが、によりまして、当時では考へることも出来なかつた今の西能病院の姿に発展させていたいたこと

初心を忘れず、第一の四半世紀のスタートへ

病院の存在意義が新しく見直される時

五省

一至誠に情るなりしか
一言行に恥ぢるなりしか
一氣力に欽るなりしか
一努力に感みながりしか
一不精に眞ろながりしか

を得て來たNHKの大河ドラマ「いのち」の最後の場面を見ることが出来ました。私が弘前で医師の修業をしていました頃と殆んど同時代からスタートし経つりますが、この間、私はその悔しく情けない心情を常に抱き続けながら、人間として努めて来ました物語りであったので、忘れていた様々のことを思い出し、又同時に考えさせられることの多

いドラマでした。

五省

一至誠に情るなりしか
一言行に恥ぢるなりしか
一氣力に欽るなりしか
一努力に感みながりしか
一不精に眞ろながりしか

ありがとうございました。

五省

一至誠に情るなりしか
一言行に恥ぢるなりしか
一氣力に欽るなりしか
一努力に感みながりしか
一不精に眞ろながりしか

健康法の問題

(37)

昭和六十二年四月、第二十一回日本医学会議が東京で開催される。そのメイン・テーマは「一世紀への医学と医療である。」高齢社会を迎えて、健康問題がますます重要な課題になってきた。二十一世紀にむかって医学と医療に対する期待は大きい。

日本人が現在ほど健康

問題に深い关心をもつた時代はないといわれている。水野肇氏によれば、「これには三つの理由がある。第一は平和、第二は豊かさ、そして第三が人生における楽しみの追求である。戦前の日本人には健康を生活の第一にあげるという余裕はなかった。もともと、日本人の健康観とでもいってべきものには、二つの特徴がある。ひとつは「身を粉にして働く」という健康新規よりも仕事という考え方。もうひとつは「花は桜木、人は武士」という散りざわのよさを賛美する思想。こういった思想は、日本人の健康観とでもいって、ひとつは健康新規から健康新規第一主義という考え方ではない。」

さきほど、第一回日本健康科学学会が開催された。本日の健康問題について、あまりにも多くの情報が飛び交っている。人を不安においやつていて、健康づくりにとりくんでいる人たちに、正しい健康観を育ててい

さて、現在の健康法ブームは、この健康新規第一主義にもついているが、しつかりとした健康新規をもつてしないと、何のための健康法かわからなくなってしまう。健康法にとりつかれて、かえって病気にならぬよう皮肉な現象も起こる。事実、これだけではどうにもならない領域である。

二十二世紀への医学、そして現実の医療、健康法ブームは健康で、できる限り長生きできれば幸福である。しかし、健康新規はたどりないのである。たいていの人

は漠然と考えているに過ぎない。会社で出世するためかげた日本医学会議が、はたしてどの程度の健康問題に光をあけてくれるか。学問としての医学

にわく日本の実状とは、かなりかけ離れていると思う。学問としての医学はどんどん人間性無視の方

に向運んでゆく。その医学を土台にしての医療は、人間の全体をみな専門化、そして人間の心を顧みない物質主義に走つてゆく。人間不在の医学と医療という傾向に、何がハドメをかけるのであるうか。むつっているのは、健康法に頼んでいる人たちではなく、健康的な現象もおこる。事実、これだけはかわらぬらしい。

さきほど、第一回日本健康科学学会が開催された。

本日の健康問題について、あまりにも多くの情報が飛び交っている。人を不安においやつていて、健康づくりにとりくんでいる人たちに、正しい健康観を育ててい

くことが必要であるという発想でつくられた学会

である。このようにして、ようやく健康学といっ

た問題が誕生したが、これは甚だ複雑な学問で、医

学だけではどうにもならない領域である。

二十二世紀への医学、そして現実の医療、健康法ブームは健康で、できる限り長生きできれば幸福である。しかし、健康新規はたどりないのである。たいていの人

は漠然と考えているに過ぎない。会社で出世するためかげた日本医学会議が、はたしてどの程度

の健康問題に光をあけてくれるか。学問としての医学

にわく日本の実状とは、かなりかけ離れている

と思う。学問としての医学

はどんどん人間性無視の方

に向運んでゆく。その医学

を土台にしての医療は、人間

の全体をみな専門化、そして人間の心を顧みな

い物質主義に走つてゆく。人間不在の医学と医療

という傾向に、何がハドメをかけるのであるうか。

むつっているのは、健康法に頼んでいる人たちではなく、健康的な現象もおこる。事実、これだけはかわらぬらしい。

さきほど、第一回日本健康科学学会が開催された。

本日の健康問題について、あまりにも多くの情報が飛び交っている。人を不安においやつていて、健康づくりにとりくんでいる人たちに、正しい健康観を育ててい

くことが必要であるという発想でつくられた学会

である。このようにして、ようやく健康学といっ

た問題が誕生したが、これは甚だ複雑な学問で、医

学だけではどうにもならない領域である。

二十二世紀への医学、そして現実の医療、健康法ブームは健康で、できる限り長生きできれば幸福である。しかし、健康新規はたどりないのである。たいていの人

は漠然と考えているに過ぎない。会社で出世するためかげた日本医学会議が、はたしてどの程度

の健康問題に光をあけてくれるか。学問としての医学

にわく日本の実状とは、かなりかけ離れている

と思う。学問としての医学

はどんどん人間性無視の方

に向運んでゆく。その医学

を土台にしての医療は、人間

の全体をみな専門化、そして人間の心を顧みな

い物質主義に走つてゆく。人間不在の医学と医療

という傾向に、何がハドメをかけるのであるうか。

むつっているのは、健康法に頼んでいる人たちではなく、健康的な現象もおこる。事実、これだけはかわらぬらしい。

さきほど、第一回日本健康科学学会が開催された。

本日の健康問題について、あまりにも多くの情報が飛び交っている。人を不安においやつていて、健康づくりにとりくんでいる人たちに、正しい健康観を育ててい

くことが必要であるという発想でつくられた学会

である。このようにして、ようやく健康学といっ

た問題が誕生したが、これは甚だ複雑な学問で、医

学だけではどうにもならない領域である。

二十二世紀への医学、そして現実の医療、健康法ブームは健康で、できる限り長生きできれば幸福である。しかし、健康新規はたどりないのである。たいていの人

は漠然と考えているに過ぎない。会社で出世するためかげた日本医学会議が、はたしてどの程度

の健康問題に光をあけてくれるか。学問としての医学

にわく日本の実状とは、かなりかけ離れている

と思う。学問としての医学

はどんどん人間性無視の方

に向運んでゆく。その医学

を土台にしての医療は、人間

の全体をみな専門化、そして人間の心を顧みな

い物質主義に走つてゆく。人間不在の医学と医療

という傾向に、何がハドメをかけるのであるうか。

むつっているのは、健康法に頼んでいる人たちではなく、健康的な現象もおこる。事実、これだけはかわらぬらしい。

さきほど、第一回日本健康科学学会が開催された。

本日の健康問題について、あまりにも多くの情報が飛び交っている。人を不安においやつていて、健康づくりにとりくんでいる人たちに、正しい健康観を育ててい

くことが必要であるという発想でつくられた学会

である。このようにして、ようやく健康学といっ

た問題が誕生したが、これは甚だ複雑な学問で、医

学だけではどうにもならない領域である。

二十二世紀への医学、そして現実の医療、健康法ブームは健康で、できる限り長生きできれば幸福である。しかし、健康新規はたどりないのである。たいていの人

は漠然と考えているに過ぎない。会社で出世するためかげた日本医学会議が、はたしてどの程度

の健康問題に光をあけてくれるか。学問としての医学

にわく日本の実状とは、かなりかけ離れている

と思う。学問としての医学

はどんどん人間性無視の方

に向運んでゆく。その医学

を土台にしての医療は、人間

の全体をみな専門化、そして人間の心を顧みな

い物質主義に走つてゆく。人間不在の医学と医療

という傾向に、何がハドメをかけるのであるうか。

むつっているのは、健康法に頼んでいる人たちではなく、健康的な現象もおこる。事実、これだけはかわらぬらしい。

さきほど、第一回日本健康科学学会が開催された。

本日の健康問題について、あまりにも多くの情報が飛び交っている。人を不安においやつていて、健康づくりにとりくんでいる人たちに、正しい健康観を育ててい

くことが必要であるという発想でつくられた学会

である。このようにして、ようやく健康学といっ

た問題が誕生したが、これは甚だ複雑な学問で、医

学だけではどうにもならない領域である。

二十二世紀への医学、そして現実の医療、健康法ブームは健康で、できる限り長生きできれば幸福である。しかし、健康新規はたどりないのである。たいていの人

は漠然と考えているに過ぎない。会社で出世するためかげた日本医学会議が、はたしてどの程度

の健康問題に光をあけてくれるか。学問としての医学

にわく日本の実状とは、かなりかけ離れている

と思う。学問としての医学

はどんどん人間性無視の方

に向運んでゆく。その医学

を土台にしての医療は、人間

の全体をみな専門化、そして人間の心を顧みな

い物質主義に走つてゆく。人間不在の医学と医療

という傾向に、何がハドメをかけるのであるうか。

むつっているのは、健康法に頼んでいる人たちではなく、健康的な現象もおこる。事実、これだけはかわらぬらしい。

さきほど、第一回日本健康科学学会が開催された。

本日の健康問題について、あまりにも多くの情報が飛び交っている。人を不安においやつていて、健康づくりにとりくんでいる人たちに、正しい健康観を育ててい

くことが必要であるという発想でつくられた学会

である。このようにして、ようやく健康学といっ

た問題が誕生したが、これは甚だ複雑な学問で、医

学だけではどうにもならない領域である。

二十二世紀への医学、そして現実の医療、健康法ブームは健康で、できる限り長生きできれば幸福である。しかし、健康新規はたどりないのである。たいていの人

は漠然と考えているに過ぎない。会社で出世するためかげた日本医学会議が、はたしてどの程度

の健康問題に光をあけてくれるか。学問としての医学

にわく日本の実状とは、かなりかけ離れている

と思う。学問としての医学

はどんどん人間性無視の方

に向運んでゆく。その医学

を土台にしての医療は、人間

の全体をみな専門化、そして人間の心を顧みな

い物質主義に走つてゆく。人間不在の医学と医療

という傾向に、何がハドメをかけるのであるうか。

むつっているのは、健康法に頼んでいる人たちではなく、健康的な現象もおこる。事実、これだけはかわらぬらしい。

さきほど、第一回日本健康科学学会が開催された。

本日の健康問題について、あまりにも多くの情報が飛び交っている。人を不安においやつていて、健康づくりにとりくんでいる人たちに、正しい健康観を育ててい

くことが必要であるという発想でつくられた学会

である。このようにして、ようやく健康学といっ

た問題が誕生したが、これは甚だ複雑な学問で、医

学だけではどうにもならない領域である。

二十二世紀への医学、そして現実の医療、健康法ブームは健康で、できる限り長生きできれば幸福である。しかし、健康新規はたどりないのである。たいていの人

は漠然と考えているに過ぎない。会社で出世するためかげた日本医学会議が、はたしてどの程度

の健康問題に光をあけてくれるか。学問としての医学

にわく日本の実状とは、かなりかけ離れている

と思う。学問としての医学

はどんどん人間性無視の方

に向運んでゆく。その医学

を土台にしての医療は、人間

の全体をみな専門化、そして人間の心を顧みな

病院医療革命の年を迎えて

昭和六十二年の新春にあたり、西能院長はつぎのように語り、全職員の奮起をうながした。「医療法改正にともなう地域医療計画の発動、それに加えるに、老人保健法の改正など、病院医療革命の年を迎えた。われわれは患者さんと共にいる。その精神を堅持して、日常業務を遂行すれば、いかなる革命の風にも耐え得るものと信ずる。今日まで貯えてきた力を結集して、今こそ、われわれの力を試め時である。全職員の奮起に期待する」以下は西能病院の新主任（副を含む）の人（昨年九月）と、昨年から勤務している新人（三十一人）の新春の抱負と決意である。

新人

西能病院

新主任・新人の新春抱負

（看護部・野原かつみ）

（看護部・宮井徳彦）

（看護部・宮井徳彦）